

ヒムペブジ®による治療を受けている患者さんへ

- ・こちらのカードは、事前に入力欄を記入の上、常に携帯するようにしてください。
- ・緊急時や医療機関に行く際は、必ずこちらのカードを提示し、ヒムペブジ®による治療を受けていることをお伝えください。

患者さんの情報

- ・氏名
- ・生年月日 () 年 () 月 () 日
- ・血液凝固第 (Ⅷ ・ Ⅸ) 因子のはたらきが低下しています
- ・血友病 (A ・ B)
- ・インヒビター (あり ・ なし)
- ・ヒムペブジ®を週に1回 () mg 投与しています

- ・**〔血液凝固第(Ⅷ・Ⅸ)因子製剤
バイパス止血製剤〕**を使用します。
- (薬剤名：)を
- (投与間隔：)で
- (投与量：)投与してください。

**緊急時は本カードに記載の
医療機関へ
速やかにご連絡ください**

この患者さんは血友病治療のためにヒムペブジ®を使用しています。

●緊急連絡先(ご家族など)

・氏 名 (続柄:)

・電話番号

●緊急連絡先(ヒムペブジ®を処方された医療機関)

重度の出血や出血が止まらない場合などはヒムペブジ®を処方された医療機関にご連絡ください

・医療機関名

・担当医師名 (診療科:)

・電話番号

ヒムペブジ®は抗TFPI(組織因子経路インヒビター)モノクローナル抗体薬であり、1週間隔の皮下投与で先天性血友病患者における出血傾向を抑制します。

2026年8月作成 HPZ570003B

手術について

周術期管理下にある患者さんまたは外科手術中の患者さんでは、ヒムペブジ®を他の止血剤と併用した場合、血栓塞栓性事象のリスクが高まる可能性があるため、**ご注意ください**

●大手術を行う場合

・大手術時におけるヒムペブジ®の有効性および安全性は確立されていないため、大手術の少なくとも7日前を最終投与の目安としてヒムペブジ®の投与を中止し、バイパス止血剤または血液凝固因子製剤を用いた標準治療を行い、周術期における静脈血栓症発現のリスクを管理してください。

・ヒムペブジ®の投与を再開する場合は、術後の血栓塞栓症リスク因子の有無や、その他の止血剤および併用薬の使用等、患者さんの全身状態を考慮してください。

※大手術とは、厳密な定義はないものの、すべての腹部手術あるいはその他の45分以上要する手術を基本とし、麻酔法や出血量、輸血量、手術時間などを参考として総合的に評価されるものです。

●小手術を行う場合

・抜歯等の小手術ではヒムペブジ®の用量変更または投与中止の必要はありません。